

平成 24 年度第 1 回 計画策定部会

議事録（要旨）

1. 開催日時 平成 24 年 7 月 31 日（木）
2. 出席委員：今村部会長、伊東委員、松本委員、吉丸委員
欠席委員：斎藤委員、千田委員、田中委員
3. 報告・審議事項
 - (1) 地区区分について
 - (2) 地区ごとの保存管理方針
 - (3) 高麗門跡、御成道跡発掘調査について
4. 審議・会議録（要旨）
 - (1) 地区区分について
 - 《事務局説明》
 - ・ 高麗門跡の調査が進み、国指定史跡となる可能性があり、惣構まで含めて保存管理計画を策定していくべきか。
 - 《意見》
 - ・ 広い範囲から検証を行い、徐々に検証範囲を絞り込んでいく方法がいいのではないか。
 - ・ 部会の意義は、熊本城跡についてであるが、その周辺についても検証を行うことは周辺部の価値を高めることにつながり、中心である熊本城跡の価値を高めることにつながるのではないか。
 - 《審議結果》
 - ・ 部会で検討する範囲を惣構まで広げる。
 - ・ 保存管理計画の中で策定する区域に高麗門跡を含めた新町地域を加え、それ以外の熊本城周辺部については必要に応じて部分的に明示していく。
 - (2) 地区ごとの保存管理方針
 - 《事務局説明》
 - ・ 前回までに検討、追加した項目に加え、「現代になって建築された建造物」について項目を追加したい。具体的には、国登録有形文化財の要件を満たす建造物である。
 - ・ 前回、地区区分の名称を捉える際に呼称の変遷を確認するという方向になったので、数々の絵図から呼称の変遷を確認できないか検討している。

(3) 国指定史跡追加指定について

《事務局説明》

- ・ 次の 3 地区について、史跡の追加指定及び公有化に向けて動いていく。
- ・ NHK熊本放送局用地
- ・ 千葉城にある財務局分室用地
- ・ 宮内地区にある財務局用地及び民有地

(4) 史跡等の構成要素の整理と明確化

《事務局説明》

- ・ 石垣、堀、建造物、排水構造物、緑、石段、井戸、門の礎石、城道及び現代に建築された建造物を追加する。

《意見》

- ・ 検証範囲が新町地区まで広がるのであれば、河川や堀についても要素を追加すべきだ。

《審議を受けて》

- ・ 次回の部会までに範囲を広げた上での構成要素の状況を示したい。

(5) その他

《事務局説明》

- ・ 整備計画や管理方針を策定していく上での年代設定について、現状は幕末と捉えているが、城内に明治以降の歴史もあるがその点については現状のままでよいのか。

《意見》

- ・ 熊本城跡が特別史跡として指定された理由を確認すべきである。

《審議を受けて》

- ・ 後日、指定理由の確認を行った。
- ・ 指定理由は、「多少の改修はあるものの、加藤清正が築城した熊本城を西南戦争を経て 12 の国指定重要文化財を今日まで保存し、石垣や堀の保存状態がいいこと。」とあり、設定年代は幕末で捉えるべきだと考える。